

目標達成計画

作成日：令和 1 年 12 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	別荘地という環境の中で災害時の近隣の協力対策をどうするかが問題。特に夜間帯は職員の数が減るため近隣の協力は必須。	日中営業している店舗や施設、常時人のいるホテル、旅館などへ協力要請をお願いする。警察、消防署などの公共機関、運営推進会議に参加している地元の有志の方などにもお願いをする。防寒対策としてのカイロや石油ストーブを準備する。	近隣の商業施設、警察、消防などの公共機関へパンフレットやりんどう荘通信を持参し入居者様の人数や職員の人数を伝え万一の時の協力をお願いする。また、那須町にある同じ法人のなすの苑やディりんどうにも応援要請をする体制を作っておく。防寒対策については来年度予算で購入する。	4ヶ月
2	10	施設に度々足を運んでくださる利用者の家族の方とは話をできるが減多に来荘されないご家族の方とは中々運営についての話まではできていない。中にはネグレクト状態の方もいるのでそのような方にどのように向き合うかが問題である。	利用者様のすべてのご家族と関係性を密にする。信頼され何でも相談できるような施設作りをする。	毎月送っているりんどう荘通信とは別に、ご家族様へのアンケートや個々の利用者様の近況を書いたお手紙を作成し定期的に郵送する。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。